



みなみせや

子どもの学びを確保する模索

校長 藤田 優

臨時休業の延長～分散登校、短縮授業での学校再開となりました。変異株の流行は、児童への感染拡大の可能性を高めました。保護者の皆様には緊急受け入れや登校などについてメール配信でお知らせしてきましたが、不安や心配が尽きないことと思います。お子さんを預かる教職員にとっても同様で、友達と日々を創り上げることで得られる学びを、少しでも確保しながらの最大限の感染症対策は何か、折り合いを見つけていく難しさに向き合っています。

「分散登校での学校生活」

3密（密集・密接・密閉）については、可能な限りの低減を目指します。富岳*の試算では、従来の1mのディスタンスに同等な距離は1.9mとなります。登校する児童を1/3に減らした分散登校にしないと担保出来ない数字です。時間については従来の1/2の時間で、同程度と出ています。特に教室では距離をとることはできないので、学習形態などを工夫して友達と一緒にいる時間を短縮することになります。

マスクについては、子ども用の不織布マスクを各教室で適宜わたせるようにしますが、必ず予備のマスクを持たせるようにしてください。感染症対策の観点から不織布マスクがより良いです。こまめな手洗いに加え、給食前にアルコール手指消毒を全員に行います。給食は集団での会食となりかねないので、徹底した黙食を再度確認して進めます。

委員会活動などは最小限にして、学級での活動だけにとどめるようにします。大変残念ですが、4年生5年生の宿泊体験学習については、日帰りに変更したいと思います。6年生の日光修学旅行は12月に延期にします。休み時間は、鬼ごっこなどの接触する遊びや、ボール遊び、長縄などもしないようにします。校庭と屋内に分散して休み時間を過ごすよう、声かけをします。

感染症対策としての欠席に加え、体調不良による欠席についても、記録上は欠席とはせず出席停止とします。少しでも不安があるときは、大事をとって休むようにしてください。一つ残念なことはまだタブレットを活用して、学校と家庭で学習を繋げないことです。本校では市内で順番に配達されるipad配置整備が遅く、夏休みにかかる最終グループだったため、児童への指導を含めて体制が組めていません。またインターネット回線のない家庭への貸し出しを目的とした自宅学習用ポケットwifiルーター数が大幅に不足している現状もあります。報道されているオンライン授業を実施している学校と同じような取り組みに早く近づければと思います。

「自分づくりへと向かう学びに」

各教科の学習を通して、こんな考えをもつことができた、こんな表現ができた、分かってもらえた、伝わったという経験をする中で、「自分」の輪郭が形成されていきます。覚えたこと知ったことを、活用して使ってみることで、生きた力として身に尽きますが、友だちと一緒に、人と共に学ぶことは、その大きな支えとなります。大きな制約がかかっている休み明けの学校生活となりますが、少しでも子どもたちの学びを大事にしてあげたいと思います。

*富岳：理化学研究所と富士通が開発したスーパーコンピュータ。

欠席等 連絡メールをご活用下さい！

*昼夜問わずご利用でき便利です。

*学校再開に伴いお気づきの点なども

このメールにお寄せください。

